

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第67号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年5月4日 21時23分ごろ	
発生場所	長崎県対馬市上対馬町三島灯台から真方位306° 11.7海里付近 (概位 北緯34° 50.9′ 東経129° 15.3′)	
事故等調査の経過	平成21年5月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 <sup>ローナ</sup> ROHNA（カンボジア）、1,582トン 8330853（IMO番号）、OASIS MARITIME CO LTD B 漁船 <sup>こんびら</sup> 金比羅丸、19トン NG2-10445（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、韓国免状四級 大韓民国籍 B 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 左舷外板に擦過傷 B 船首右舷外板に最大長さ170cm最大幅25cmの破口	
事故等の経過	A船は、船長ほか8人が乗り組み、船長が単独で当直し愛知県衣浦港に向けて航行中、B船は、船長ほか2人が乗り組み、対馬市三島灯台北西方沖において、アナゴ籠の揚収に備え、停泊灯の替わりに黄色の回転灯を点灯し、操舵室に見張りを置かず3人とも船室で就寝して錨泊中、平成21年5月4日21時23分ごろ、A船の左舷船首部とB船の右舷船首外板部とが衝突した。 A船は、そのまま航走していたところ海上保安庁に事情を聴かれ、B船は自力で小網漁港に帰港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、視界 良好 海象：平穏	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、航行中、錨泊中のB船の灯火に気付かなかったものと考えられる。 B船は、錨泊中に正規の停泊灯を点灯せず、また、錨泊当直を置いていなかったものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、三島灯台北西方沖において、A船が航行中、B船が錨泊中、A船がB船の灯火に気付かず、また、B船が錨泊当直を行わなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	